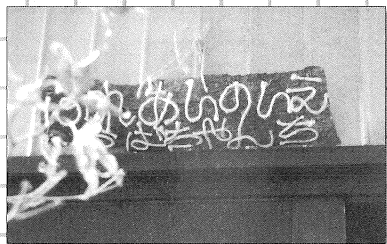


ふれあいの家 おばちゃんち

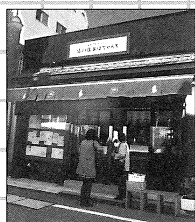
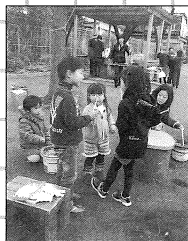
東京都品川区

シリーズ
子どもが
育つ場所を
訪ねて



日本全国にある「子どもが育つ場所」を幼稚園教員が訪問。自分の目で見て聞いて感じたことをレポートします。

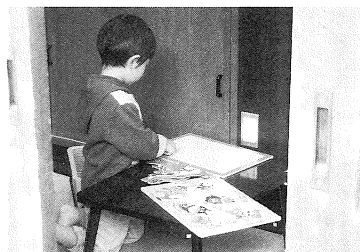
第6回は東京都品川区にあるNPO法人おばちゃんち。昔から人の往来のあるこの場所で、ふれあいやつなぐりを大切にしまちづくりが行われています。



レトロな雰囲気の建物が目に入り、思わず近寄る。ちゃぶ台に小さな男の子が絵本を広げているのが、ガラス戸越しに見える。おおいひもで赤ん坊を背負った女性もいる。コーヒー一杯百円の張り紙。「街猫」という名前のカフェが併設されている。

◆一時預かり「ほっぺ」

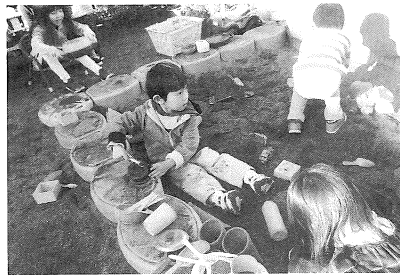
北品川の駅から大通り沿いに歩き、道を一本入ると、まるで昔にタイムスリップしたかのようなたたずまいの街が現れる。旧東海道の品川宿。その昔、大名行列や旅人たちが行き交ったであろうその通りは、道幅五〜六メートル。すれ違う人同士の自然なやりとりが聞こえてくる親しみのある懐かしい雰囲気の場所だ。そんなすてきな場所に、今回私たちが訪ねた「NPO法人 ふれあいの家 おばちゃんち」はあった。



昭和の雰囲気の漂う一軒家。ここは、「おばちゃんち」が、品川区の補助金を得て行っている一時預かり事業「ほっぺ」である。子ども連れのお母さんが、買い物途中にちよつとひと休みできる、そんな雰囲気が漂っている。

建物の裏へ回ると、かつては駐車場だったという空間に、子どもたちが保育者と遊んでいた。小さいけれど程よいその空間は、土の地面に、砂場、水場があり、植物が植えられ、時々立ち寄るらしい猫のためのトイレまで用意された、ほっこりと温かい場所。

日だまりの中で遊ぶ子どもたちに見とれていると、「いらっしやいー」と笑顔で声を掛けてくれたのが渡辺美恵子さん。NPO法人「おばちゃんち」の代表である。子どもたちを迎えにきたお母さんたちに、気さくに声を掛け、子どもたちからも仲間の保育者



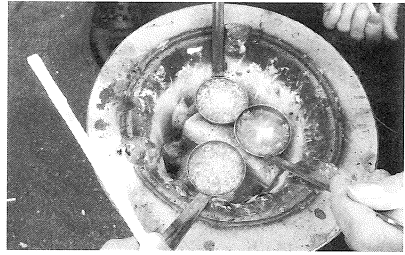
からも「みこちゃん」と親しまれている渡辺さんは、初対面なのに、どこかで（もしかしたら、幼いころに？）出会ったことがあるかもしれないと思うような優しい笑顔の人だった。

◆「北浜こども冒険ひろば」

渡辺さんに「暗くなる前にぜひ行つてらっしやい」と言われ、次に訪れたのが、「北浜こども冒険ひろば」だ。これも、品川区の委託で、「おばちゃんち」が管理している事業の一つである。

学校が終わり、一度家に帰った子どもたちが、友達と連れ立って、三々五々と北浜公園に集まってくる。ちよつどの日は、七輪で炭がおこされ、べっこう飴作りも体験できた。





子どもたちは、スタツフから程よい大きさの玉杓子たましを借りてくると、家から持ってきた砂糖を、ひたひたの水と一緒に玉杓子に入れて、七輪の火にかざす。一度溶けて透明になった砂糖水が、しばらくするとふつつつと煮立ってくる。そして、甘い香りとともに、少しずつ飴色に色

づいてくる。この間、とにかくかき混ぜたりしない。焦らずじっくりおいしくなるのを祈りながらじっと待ち続けるのだ。一点を見つめ、思いを込めて、ひたすら待ち続ける時間がこんなにとしく豊かであることに、改めて気付かされた。祈りが通じて出来上がった、おいしいべっこう飴をしゃぶりながら、子どもたちは笑顔で遊び始めた。



◆品川のおばちゃんパワ―

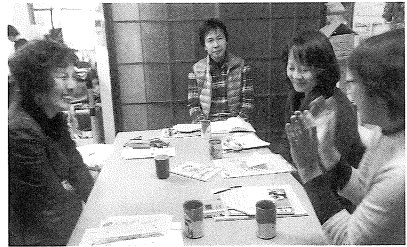
北浜公園で子どもたちと一緒にしばらく遊び、日も暮れかかかってきたところで、すぐ近くにある「ふれあいの家おばちゃんち」にお邪魔した。玄関の引き戸、台所に置かれたテーブルと椅子、前に訪れたことがあったかと錯覚するくらい懐かしいに思いするこの空間が、渡辺さんのご自宅兼「おばちゃんち」の事務所である。

子ども時代、話し相手や遊び相手となり、ご飯を作って食べさせてくれた近所のおばちゃんたちの存在、そして、この町で育ち、今もここに暮らしていることが、「おばちゃんち」を始めた一番の理由だという。「おばちゃんは、先生ではないのよね。肩を並べて一緒に暮らす人。先生は学校にいれば十分でしょ」と渡辺さん。みこちゃん、くーさんと、スタツフの皆さんの呼び名が〇〇先生ではない理由もここにあり、スタツフ同士が横並びの関係であるということが伝わってくる。

子育てを終えた豊かな経験者であるおばちゃんたちが「おばちゃんち」の活動を支えているが、「おばちゃんち」は、お母さんたちの子育てを奪う役ではない」と強調される。「おばちゃんち」が出来て三年目に立ち上げた「保育サポーター養成講座」では、三十時間のプログラムを組み、保育サポーターとしてのおばちゃん魂を養成するという。子育てをするお母さんと育とうとする子どもたちの関係を支える存在としてのおばちゃんの養成。こういうおばちゃんたちが、すぐそばにいてくれたら、何て心強いことだろう。

◆親同士の育ち合いの場

「おばちゃんち」の事業の核であるという「Nobody's perfect」（カナダで生まれた親育ちプログラム）では、若いお母さん対象の講座も行っている。一度に



十から十五人の、初めて子どもをもつ親が集まる。親として共に育ち合う仲間と出会える場になることを願って始めたこのプログラム。「保育付き」ということに魅かれてやって来るお母さんもあるようだが、自分の時間をもつことが、自分の子どもとしっかり向き合ってみようと思う気持ちにつながっていくのだという。

大人は、子どもをもって初めて親となる。親としての育ちもゆっくり大事に見守っていこうとする渡辺さんのまなざしは温かい。



◆赤ちゃんから高齢者までが、世代を超えて

ふれあい暮らせる、そんな「まち」をつくりたい！

現在、「おばちゃんち」で請け負っている事業は、次ページの図のとおり。

2011年度「ふれあいの家—おばちゃんず」へようこそ

ふれあい 広場

もっと楽しくおあそび! ホットほっとHOT

赤ちゃん・子ども達から若者・大人まで誰もが外あそびと野外料理を楽しめます。毎月の詳細情報はHPをご覧ください。
毎月第3日曜日 11時～15時
場所 北浜子ども冒険ひろば 他
参加費 大人ひとり100円

みこちゃんず

乳幼児と大人の方々の憩いの場です。ベテラン保育士・栄養士・臨床心理士による子育て相談が受けられます。
実施日 毎週月曜日11時～15時
場所 「品川宿おばちゃんち」
利用料 大人ひとり100円

コミュニティカフェ「街猫堂」

お買い物帰りにふらっと立ち寄れる「近所異空間」。
場所 「品川宿おばちゃんち」
コーヒー 100円 お散歩マップ 200円

なんくるないさ〜

若者の「やりたい!」を形にし新しい仲間と出会う広場。
仲間募集中!
実施日 毎月1回主に夜間開催
場所 「品川宿おばちゃんち」 他

「北浜子ども冒険ひろば」

土まこ、水あそび、火あそび、木のほり等と親しめる広場です。
実施日 月曜日～土曜日 14時～日没頃まで
火・水・木・土曜日 遊具・道具の貸し出し
詳しくは「北浜だより」をごらんください。
品川区運営委託

つながりあい 広場

ニュースレターの発行

特集号を含め年5回発行

まちの子育て情報室

品川区内、周辺の子育てに関する様々な情報を集めます。

NEW 八潮にこみかいていぶらそ八潮協働推進室

八潮にも事務所を構え、新たなつながりを創っていきます。

子育て・子育てに やさしいまちづくり

ネットワークINしながわ

品川区の子育て関連民間団体や自主グループ、子育て当事者、保育サポーターの方々が交流をし、豊かな子育て育ちを願うネットワークをすすめます。(春・秋2回開催)

荏原ほっとサロン「ニンコリーク」

どの子も我が子と思って、見守りあい、助けあい、楽しんで過ごす赤ちゃんからじーじばーばまでのサロン。
運営 「子育て仲間＊はらっぱ」
実施日 毎週火・水曜日11時～15時
場所 荏原ほっとサロン(品川区荏原4-12-20 武蔵小山駅徒歩10分)
参加費 100円

まなびあい 広場

Nobody's perfect

親と共に子育てあう仲間と出会う、カナダ生まれの親子育プログラムです。
2011年10～11月開講
共催品川区

ら〜ん・ら〜いず

子育て講座をおこなったり、育児サークルの立ち上げをサポートします。
場所 「品川宿おばちゃんち」

ほっぺ

理由は問わずに安心してお子さんを預けられるところです。
実施日 月～土曜日 9時～17時
実施所 「品川宿おばちゃんち」
場所 区民500円/1時間 5時間日から600円/1時間
年会費 2500円
(詳細及び他区の方の利用については、お問合せください。)

うくぼ

登録した自主グループ、団体のグループ保育に、認定サポーターと保育ボランティアを派遣します。
保育料 一般ひとり 500円/1時間
年会費 一般(団体) 2,500円 (法人) 10,000円

保育サポーター養成講座

・子育て中の親を温かく支える保育サポーターを養成します。
・前期2011年6～7月
・後期2011年9～10月
共催:品川区

えがお

子育てに関するよろず相談を面談しておこないます。
実施日 随時
場所 「品川宿おばちゃんち」
料金 無料(お子さんの保育が必要な場合、保育料1時間500円)
事前の電話予約が必要です。

連続セミナー

「外あそび ワクワク!」

北浜子ども冒険ひろば野外での活動について学ぶ講座です。
2012年2～3月開講予定

まかくの 広場

スタッフ、サポーター、子育て当事者の誰かが提案し、子育て育ちに関する様々な企画をおこなっていきます。



子育て交流センター「品川宿おばちゃんち」

＊ほっぺ ＊みこちゃんず ＊街猫堂 ＊ら〜ん ＊うくぼ ＊なんくるないさ〜 ＊あずかり保育 ＊はらっぱ ＊のお問い合わせ先。ご相談はこちらへ
住所 品川区品川2-4-20 京急新馬場駅北口徒歩5分

しながわ子育てポータルサイト「7と7とねっと」
随時コンテンツ更新中。てととねっと編集局員、編集委員会スタッフ募集中。
<http://www.tetoteto.net/>

しながわ子育てガイド「SKIP」
VOL.0 (04年)、VOL.1 (05年) 完売、VOL.2 (07年)、VOL.3 (09年) 在庫有。
しながわ子育てサポートガイド2011配布中、編集委員会スタッフ募集中。

はっぴいトライアングル
主に品川区で活動する子育て関連の自主サークル・グループのネットワークです。
第10回子育て交流会「ラ・ラ手をつなご」
2011年10月23日(日)、浅間台小学校にて開催

協働

第4回

品川子育てメッセ2011

2011年7月8日(金)、きゅりあんにて開催
詳細は <http://www.s-messe.com/index.htm>
2012年7月 第5回開催予定

品川はらっぱ探検隊

品川区内で自然とふれあって遊べる「はらっぱ」を探し、一日プレーパークを開催します。
2011年8月28日(日)11時～16時 [第3回はらっぱであそぼう!〜二葉の巻II] 開催

取り組みの一つひとつを丁寧に見ていくと、人が人として豊かにかかわり合いながら、育ち合い生きていくためのあたりまえの環境がそこにあることに気付かされる。「おばちゃんち」は、あたりまえ故に見失いがちである、人として生きる大切な環境を、「品川」という地域に呼び戻す拠点になっている。

「おばちゃんち」のチラシに、次のような言葉があった。「赤ちゃんから高齢者が集えるところ、子どもがすこやかに育ち、若者が輝き、おとなが心ゆたかに暮らし、世代を超えたふれあいが続り広げられる身近な場所、互いに支えあい共に育ちあつて暮らす、そんな『まち』をめざします。」

地域に暮らすさまざまな人たちの育ちを見守る目をもった「まち」をつくろうとする思いが、渡辺さんの語る一つひとつの言葉から伝わってきた。

◆できることには限りがある

バイタリティーあふれる渡辺さんだが、少しも威圧感がないのはなぜだろう。最後に語った言葉に、

その秘密があった。「できることには限りがあるのでしょ。それでいいと思うの」。力を入れ過ぎず、程よく抜けた緩い雰囲気「おばちゃんち」を優しく包んでいる。

「おばちゃんち」の事務所も、一時預かりの「ほっぺ」も、訪れたすべての場所がほっこり落ち着く懐かしい空間だった。「広さが規模を決める。私はおうち感覚がいい」。そう語る渡辺さんの笑顔に、子どもころにお世話になった懐かしい近所のおばちゃん的面影が重なって見えた。

訪問者／川辺・佐藤・宮里

文／佐藤寛子

(お茶の水女子大学附属幼稚園)

— 訪問メモ —

訪問時期：2011年12月

訪問場所：特定非営利活動法人
ふれあいの家 おばちゃんち

〔住所〕東京都品川区北品川 2-28-19

〔電話〕03-3471-8610